

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標：発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像：よい未来を共に創出す人間

第7号 2022年3月9日(水)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

成長を喜び、次の一步を踏み出そう

山口大学教育学部附属幼稚園 副園長 大森 洋子

早いもので令和3年度も残すところあとわずかとなりました。締めくくりのときを迎え、子どもたちは、それぞれに進級や進学を楽しみにしながら、一年間を振り返ったりまとめたりしています。学校園としても、取り組みを懇談会などでお話させていただいたり、保護者の方や学校運営協議会の委員の方々にアンケートや評価をしていただいたり、教職員で教育活動を振り返って次年度へつなげられるようにと協議したりしているところです。4月に抱いていた願いや目標のすべてが実現した訳ではありませんが、結果を見つめて、「次はどうするか」を考えることが大切であり、そういう機会を、教職員だけでなく子どもたちや保護者の方々、地域の方々と共に設けることができるという点で、幸せな現場だなあと感じています。



さて、この一年間で、子どもたちはそれぞれに本当に大きく成長しました。できなかったことができるようになったり、知識が豊富になったり、精神的に成長したりとその成長ぶりは多岐にわたります。保護者の皆様や私たち教員は、子どもたちの日常の言動からその成長ぶりを見て取り、実感できるときです。では、子どもたち自身はどんなときに自分が「成長した」と感じるのかしらと考えてみると、自分自身を振り返ってみることで認識できるのだと気づきます。小さな園児でも、振り返りの機会を設けると、思い出したり昨日や以前と比べたりして、「前はこうだったけど〜になった」「花組(年少)のときの私は泣いていた」などと話すことがあります。小学生や中学生ともなると、しっかり自覚して振り返ることができるでしょう。意図的に振り返ったり、俯瞰的に捉えたりする機会を設けることの大切さを改めて感じます。

また、振り返りや自覚を促すものとして、周囲の友達や大人の存在の重要性を感じます。友達が「Aちゃん、お部屋に戻ってくるのが早くなったね」「(お化け屋敷で) Bちゃんが案内役をしてくれたから、小さい組が迷わずに行けた」などと認めてくれたり、教師が「野菜が食べられるようになったね」「叩かずに言葉で言えるようになったね」などと認めることで、子どもは成長した自分を自覚できます。そして、成長を自覚することで自信をもち、次のステップへと進むことができるのだと思います。年長児からウサギ当番の仕方を教わった年中児は、「星組さんが褒めてくれたから大丈夫。頑張るよ」と言っていました。先日のお別れ遠足では、前回の園外保育時にはクラスの列から遅れることになったDちゃんが、行きも帰りもしっかりと友達と一緒に歩いていました。「Dちゃんすごいね。大きくなったね」と声をかけると「うん、当たり前じゃん。もうすぐ星組になるしね」と返ってきました。できるようになった自分に自信をもち、進級する自分がうれしいのですね。



子どもたちは、成長を認めてもらうことで次の一步を踏み出していきます。私たち大人は、つい欲張って足りない部分に目がいきがちになってしまうけれども、まずは子どもたちが歩いてきた道をしっかりと受け止め、認めてあげたいと思います。どんなときでも「認めること」は重要な支援ですが、3月のこの時期は、いつも以上に「大きくなったね」と認めることで、次のステップへと送り出す絶好の機会となるのではないのでしょうか。

ところで、先日正門付近で、地域の方が「小学校運動場の木が剪定され、学校の様子がよく見えるようになってとても楽しい」と声をかけてくださいました。保護者や附属、大学関係以外の地域の方から声をかけていただくことは稀なので、それだけでとてもうれしかったのですが、学校の様子を気にかけてくださり、それを喜びに感じてくださっていることにさらにうれしくなりました。そして、続けてそばを通りかかった園児に、「あら〇ちゃん、大きくなったねー」と声をかけてくださったのです。地域の方に「大きくなったね」と言ってもらえるなんて、最高のほめ言葉です。

通学範囲が広い本学校園は、地域との関わりが希薄になりがちです。そんな中でも、前号で紹介したやまぐち学園学校運営協議会の活動などを通して、少しずつ地域と共に活動しながら成長していきたいと思っていた矢先、こんなふうに見守ってくださる地域の方に出会えて、本当にありがたいと感じたところです。地域の皆様、保護者の皆様、一年間多くのご理解とご支援を賜り、温かく見守っていただき本当にありがとうございました。やまぐち学園は、これからも白石地区にある学校園として歩み続けて参ります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

【附属幼稚園】

2月になって、年長児が年中児にウサギのお世話の仕方を教える機会を設けました。年長児はお世話の見本を見せたり教えたり、年中児の様子をほめたりして、「星組になったらウサギのお世話をがんばってね。」「お世話上手だったよ。」などあたたかいはげましの言葉を伝えていました。年少・年中児は、やさしかった年長児へのプレゼントづくりをしています。お別れ会を開いて渡す予定です。

3月2日には、全園児で亀山公園へお別れ遠足に行きました。異年齢の子どもたちが自然にかかわって遊ぶ姿や、同じ場所で弁当を食べながら、なごやかに過ごす姿が見られました。



ウサギのお世話に行こうよ。



猫の手で切るんだよ。



鬼ごっこ入れて！



遠足楽しかったね。

【附属山口小学校】

3月2日に、6年生を送る会を行いました。この日のために、5年生が会の企画を行い、一人一人が役割をもって準備を進めてきました。各学年へのプレゼント作成の案内や出し物の打ち合わせ、体育館の飾り付け、会の進行など来年度の6年生としてリーダーシップを発揮しました。1～4年生の子どもたちも、6年生への感謝の気持ちをダンスや劇などで表現しました。学年ごとの出し物は工夫にあふれ、参加者全員が笑顔になる会となりました。3月15日には、卒業式を行います。6年生も式に向けて準備を進めています。名残惜しいですが、6年生の門出を心を込めてお祝いしたいと思います。



会の準備をする5年生



1年生のインタビュー



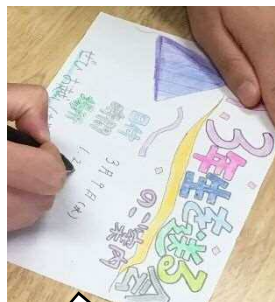
4年生のダンス



笑顔の6年生

【附属山口中学校】

3月9日（水）に行なわれる「3年生を送る会」に向けて1，2年生が三つのグループ（ステージ発表、モザイクアート、プレゼント）に分かれて、3年生への感謝の思いを様々な表現やカタチで一生懸命に伝えようと準備しています。翌日の10日（木）には、卒業式が行われます。卒業生、在校生ともに、附中生としての心に残る1日となることでしょうか。2年生が中心となり、心を込めて一生懸命に企画・準備する姿に頼もしさが感じられました。



招待状の制作



全体パフォーマンスの練習



モザイクアートの制作



プレゼントの制作